



二〇二六年
四月号

エルダーサロン



新事務局長 志賀 知香子

この度、山口前事務局長の退任に伴い、事務局長に就任いたしました。正直なところ、日本初の女性総理のように意欲的に名乗りを上げたわけではなく、年功序列の流れの中で背中を押された形ではありますが、この大役を拝命した以上、自分なりの歩幅で誠実に職責を果たしていく所存です。至らぬ点多々あるかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本の高齢者を取り巻く環境は「生涯現役」へと変化し、一定の年齢まで働き続けることは一般的な選択肢となりました。シルバー人材センターは高齢者にとって数ある選択肢の一つとなり、超高齢社会でありながら会員数の減少が課題となる一因とも言えます。

このような状況の中、公益法人としてのシルバー人材センターが、いかに地域のニーズを的確に捉え、魅力ある存在として発展していくかが重要な課題であると考えています。

会員皆様のお力をお借りしながら、地域に必要とされるセンターへと進化できるよう、事務局一同、取り組んでまいります。今後ともご指導とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



発行所 公益社団法人 犬山市シルバー人材センター
所在地 愛知県犬山市松本町二丁目7番地

TEL (0568)62-8505
FAX (0568)62-5819
e-mail : inuyama@sjc.ne.jp
<https://www.sjc.ne.jp/inuyama/>



令和8年度事業計画

当センターの令和八年度事業計画が次のとおり決まりました。

I 基本方針

我が国の六十五歳以上の高齢者人口は、令和六年十月時点で三、六二五万人となり、総人口に占める六十五歳以上人口の割合（高齢化率）は二九・三％と超高齢化が進んでいます。

総人口が減少する中、労働力確保のため事業所等における定年延長は、シルバー人材センターへの入会年齢の上昇と会員の高齢化を招いています。

さらに物価の高騰により生活費の一部として働きたいという声も増え、就業ニーズが多様化しているのも入会者の減少の要因となっています。

また、インボイス制度による税負担の増加やフリーランス新法などの影響により、センター事業を取り巻く環境は非常に厳しい状況であります。

その課題を解決するためには、センターのイメージアップ、働きやすい環境づくり、魅力ある仕事の開拓など会員、役員、職員が共通認識を持ったうえで、力を合わせて果敢に取り組んでいかなければなりません。

センターの基本理念である「自主・自立、

共働・共助」のもと、会員相互の親睦と信頼、連帯感を醸成しながら、犬山市など関係機関との連携を密にし、地域から頼りにされ貢献ができる魅力あるセンターとなるよう事業を進めてまいります。

II 実施計画

1 公益社団法人としての健全な運営

定款に則して公益目的事業を推進し、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与できるように公益社団法人に相應しい健全な運営に努めます。

2 活力と魅力あるセンターを目指して

令和六年度からスタートした第四次中期計画三年目の数値目標達成を目指します。

(1) 会員数の拡大

センター事業推進のためには、会員数の拡大が不可欠です。会員、役員、事務局が知恵を絞り出し一丸となって粘り強く会員の確保を目指します。

(2) 就業機会の確保・拡大

就業開拓委員会を中心に、多様な会員の就業ニーズ及び市民ニーズに応じた就業機会の確保・拡大に努めます。

(3) 安全就業・適正就業の推進

安全委員会を中心に、安全就業の周知徹底を図るなど事故ゼロを目指した取り組みを強

令和8年度収支予算

(単位：千円)

経常収益	
・受託事業収益	16,460
・包括的契約に係る収益	25,680
・労働者派遣事業等受託収益	2,700
・受取会費	756
・受取補助金等	43,996
・受取負担金	756
・特定資産運用益	15
・雑収益	130
経常収益計	90,493
経常費用	
・事業費	89,316
・管理費	5,848
経常費用計	95,164
当期経常増減額	△4,671

ります。適正な就業形態の推進を図

(4) 独自事業の着実な推進

既存事業の課題等の改善や見直しを進めるとともに、新たな独自事業の開拓に向けた調査研究を進めるなど、独自事業を着実に推進して、センターの活性化につなげていきます。

(5) 安定した事業の運営

センターの将来に向けた安定的な運営と事業拡大のために、会員組織の強化と事務局体制の整備、財政運営の健全化を図ります。



まん丸真っ赤な
【おいしい花子】
只今好評販売中の
トマトです





会長 小林 幹和

四月からのスタート、新しい第一歩の始まり。創立四十数年において初めての

女性事務局長の誕生です。第二次高市政権樹立の折に、当センター初の女性局長に辞令交付できたことを大変光栄に存じます。事務局

長として、これまでの経験と英知をもって迅速な対応処理を望み、また事務局のコミュニケーションを高め、会員の皆さんと明るく楽しいセンターを築けるよう、ご指導をお願いいたします。



前事務局長 山口 正巳

シルバー事務局職員として

三十八年間、そしてその内二年間を事務局長として勤めさせていただきました。三月末日をもって卒業いたしました。四月からは、志賀次長が当センター初の女性事務局長として就任されますこと、おめでとうございます。新たな体制でのスタートです。新局長は職歴二十八年、特に経理関係はベテランであり、会員の橋渡し業務に従事するとともに、機関誌編集・女性委員会



新事務局長にエール



強力 安幸

当センター初の女性局長誕生は

大変喜ばしいことです。新局長は事務局職員としての経験も豊富で、今後職務遂行に大いに役立つことでしょう。執務にあたり、女性特有の感性を生かし、会員さんや職員とのコンタクトを十分密にし、職務を推進してください。元会長からエールを送ります。



丹羽 京子

ご就任おめでとうございます。

これまで積み重ねてこられたご努力と確かなご経験を活かし、このたびのご就任に十分生かされることと思います。



清水 恵子

初めての女性局長にご就任され、女性としてもとても誇りに思います。長い間事務職も経験され、センター業務も熟知しておられ、とても心強い存在です。これからも女性役員としてできる限りご協力したいと存じますので、今後ともご指導よろしくお願いいたします。

初めての女性局長にご就任され、女性としてもとても誇りに思います。長い間事務職も経験され、センター業務も熟知しておられ、とても心強い存在です。これからも女性役員としてできる限りご協力したいと存じますので、今後ともご指導よろしくお願いいたします。



機関誌編集委員会 委員一同

事務局長ご就任、誠におめでとうございます。長年にわたり培われたご見識と卓越したご構成力が生かされる就任となりましたこと、心より敬意を表します。今後は機関誌編集委員会で生かされた実力と実績を、組織のさらなる充実と発展に牽引されることと存じます。皆様の信頼を力に、ますますご活躍されますことをお祈り申し上げますとともに、当編集委員会一同から一層のご隆盛を心よりお祝い申し上げます。

信頼を力に、ますますご活躍されますことをお祈り申し上げますとともに、当編集委員会一同から一層のご隆盛を心よりお祝い申し上げます。



いつも感謝の心

善師野 日比野 辰夫

シルバーに入会して剪定会員となり、はや二十三年になりました。

入会のきっかけは、自宅の庭を本職の庭師にお願いしていただきましたので、自分でもできないかと思いついたことです。春日井市で開催された剪定の研修に三か月間通い、シルバー人材センターに入会しました。入会后、今まで大きな病気もせず、怪我もなく働いてこれたのも、シルバー人材センターの先輩方のご指導のおかげと感謝しています。

近年は年齢とともに仕事量を減らしてもらい、町内の友達四、五人と毎日喫茶店に行き、雑談を楽しみにしています。少々の畑で季節の野菜を作り、収穫を楽しみ、また月に一、二度のゴルフを楽しみ、健康維持に努めています。友達に感謝。



神様が何か言ったような

犬山 浅井 綾子

シルバーは、友人に誘われて一緒に掃除の仕事を始めましたが、脊柱管狭窄症の痛みで辞めることになり、今は月に二回買い物代行の仕事させていただいています。仕事があることで社会



参加できているという思いがあり、ありがたいと感謝しています。主人が早くに亡くなり、

ずっといろいろな仕事をしてきましたが、退職後のことを考え、友達作りのために趣味で麻雀を始めました。私が十年前に持っていたマイナーなイメージを、テレビ放送ABEMAのMリーグ等が健康麻雀、頭脳スポーツに一新させました。掲載の写真は、去年知り合った若い友達に誘われて行ったMリーグ佐々木寿人プロのイベントに参加したときのものです。時々、外で麻雀仲間「浅井さん」と名前を呼んでもらえると「ああ麻雀していい良かった」と、人と人とのつながりに心がじわじわと満たさ



れていきます。去年なんと奇跡的役満、九蓮宝燈で上がったとき、神様が何か言ったような：徳を積みなさい。
川柳「趣味は何 今なら言える 麻雀よ」
シルバーでも毎週水曜日午後から健康麻雀サロンがあります。ちよっと太つちよさんがニコニコ笑顔でお待ちしています。

私の犬山LOVE

犬山 兼松 幸生

歴史と文化のまち犬山で暮らして三十五年となり、私の人生で最も長くなりました。職場への交通の便を考えて移住したものの、リタイア後は地域とかかわりを持ちたいと考え、市の広報でたまたま目にした観光ボランティアガイドの会へ入会させていただきました。



当初は、知識しかり話術しかり、とてもお客様の前で話ができるレベルではなく、それならばお客様と一緒に楽しもうと始めました。以来十数年このスタイルを変えていませんが、事前にお客様のニーズを把握し、案内する場所ですどんな話をしようかを考えて、ガイドをしています。お客様から別れ際に、「今日は楽しかった」と言っていたいた時には、うれしさはひとしおです。お客様とは一期一会で

すが、犬山へ再度来ていただければと願って、今日も案内しています。



最後に私の犬山推しは、国宝犬山城天守の廻縁からの眺め、どんでん館にあるユネスコ無形文化遺産に登録された犬山祭の車山、そして国宝茶席三名席の一つ如庵のある有楽苑でいただくお抹茶です。さてお出かけしてみてはいかがですか。

今日一日を精一杯生きる

犬山 恩田 憲

年内に後期高齢者の仲間入りをする年齢になりました。

日頃、高齢者や老人



クラブの方々を利用される施設の管理人を、シルバー人材センターを通じてお世話になっています。健康のため、ボケ防止のため、時間を有意義に過ごすため、皆さんそれぞれの目的達成のために、前

向きに行事・活動に参加されている姿を見るにつけ、自分の生活リズムはどうなんだろうとつくづく考えさせられます。

つい四、五年前までは、先輩の方々が体調を崩されて亡くなられたとの訃報を耳にしていたのに、ここに来て同年の方、または若干自分より若い方が亡くなるが増えています。自分もそうした年齢層に入ってきていることを感じずにはいられません。

日々の生活の中で、老いを感じることは少しずつ存在します。まだまだ気の持ちようは五十代から六十代のつもりなんです。

年齢の順番でない寿命に抗うことはできませんが、連れ合いには感謝を、子ども、孫には愛を注ぎ、ほど良い量の晩酌を楽しみ、今日一日を精一杯生きる。そんなことを思う昨今です。

皆様に感謝

善師野 前田 久貴

シルバー人材センターにお世話になり、十年以上になります。

現在、上野学供で、四人のチームで施設管理業務をしています。学供に来られるお客様は、皆さん、笑顔で元気に楽しんでみえます。中でも、健康体操&サロン会や、社交ダンス、フラダンス、詩吟、太極拳、ヨガなど、いろいろ楽しいつどいの広場となっています。学



供におみえになるお客様から、朝「おはよう」帰り「さよなら、ありがとう」という感謝の言葉をいただくと、とてもやりがいにつながっています。

思い出の中で、上野学供に自主学習のために毎日来て勉強する学生さんのうち、大学入試があり、みごと国立大学に合格された方がいました。合格発表のあと、本人とお母さんがわざわざ学供にいられて、この学供で一生懸命学んだことで合格したと、お礼におみえになりました。今後も楽しい大学生活を送られることを祈念し、おめでとうと言葉をかけました。一つの出会いで感動を得られ、感謝の気持ちになりました。

私は、今後も、シルバー人材センターの企画・行事・イベントに積極的に参加し、会員皆様とのコミュニケーションを図り、より良い絆を深めていきたいと思えます。



女性委員会「スマイルワン」イベント

「健康体操」

二月五日、女性委員会「スマイルワン」による「健康体操」イベントが高齢者活動センターで行われました。参加者は会員三名、一般八名、委員六名の十七名でした。

犬山健康づくり推進協議会から四名の推進員が、お揃いのピンクのポロシャツ姿で指導に当たってくださいました。「肩こり・腰痛・膝痛 らくらく体操」の大きなポスターを基に、椅子体操を実施。無理をしないようにと言いつつもキチンと目を光らせてみえて、もつとできると思われ



ると鋭い指摘が入り、緊張感もありました。参加者からは、「自分だけではなかなかできないから参加して良かった」「これからも続けたい」「等」等の感想をいただきました。

帰りには、使用した「らくらく体操」のポスターが配付され、これからは家でも続けられるね、という意欲を持って帰途に着かれたようでした。

福祉サポート委員会イベント

「いきいき暮らす 終活×脳活講座」

二月九日、高齢者活動センターにおいて、第三回目の終活×脳活講座が開かれ、会員十二名、一般五名が参加しました。第一回は七月十四日、第二回は十月六日に実施され、延べ五十六名の参加がありました。皆様の終活・脳活に対する関心の高さがうかがえます。講座は二部構成となつて

おり、第一部は一級ファイナンシャルプランニング技能士・行政書士・宅地建物取引士の横山敦也先生による終活講座で、これからの人生を安心して暮らしていくための内容でした。第二



部は認知症予防体操講師・愛知県レクリエーション協会副理事長の松山清子先生による、高齢者医療専門家の和田秀樹先生の著書から「老いを遅らせる『あかさたな』の紹介や脳トレクイズの脳活講座でした。今年度、講座は三回開催されましたが毎回一部内容が変更されていましたので、三回とも参加された方も、楽しんで学んでいただけだと思います。この終活×脳活講座は令和八年度にも開催される予定なので、皆様、ぜひご参加ください。

市出前講座

「災害から身を守るには」

二月二十日、市防災交通課後藤氏による防災講座が、高齢者活動センターにおいて開催され、会員十八名が受講しました。

「犬山防災ハンドブック」(令和六年度に犬山市全戸に配布された物)が配布され、プロジェクターとハンドブックの両方を見ながら講義を聞きました。

災害とは何か。災害には人為災害と自然災害があり、自然災害を止めることはできない。避難とはどういうことか。必ずしも避難所に移動することではなく、安全を確保するための行動である。自宅が住める状況であれば在宅避難もあり。そのためには食料・日用品の備蓄が必要。備蓄品は分かる場所に置き、ローリングストックを心がける。気がつきにくいのがトイレ。水が止まることも想定しよう。その他種々の災害時の対応について説明を聞き、冊子の有用性を再確認しました。

参加者からは「備蓄食料はどこで買えるか」「外出していた時、近くの避難所へ行く経路が分からない」等切実な質問が出ました。あつては



ならない災害ですが、「南海トラフ」が叫ばれている今、真剣に防災について考える必要を感じた有益な講座でした。

「交通安全教室」

三月十九日、犬山警察署交通課古賀警部補による交通安全教室が高齢者活動センターにおいて開催され、会員十九名が熱心に、四月一日からの「道路交通法改正」に伴う自転車・自動車の注意すべき点について学びました。

交通事故は減少傾向にある中、自転車・人に対する事故は増加傾向にあります。青切符とは、自動車・自転車の比較的軽微な交通違反に対し警察官が交付する「交通反則告知書」の通称ですが、反則金を期限内に納付することにより、刑事罰（前科）を回避する「交通違反反則通告制度」のことを指します。この制度が自転車にも適用されるにあたり、どのような時に発行されるか等、具体例を上げて説明されました。「運転時は、危険を予見して丁寧な運転を心掛けてください。高齢者は視野が狭くなり、身体能力も衰えてきます。自分の身体能力にあった運転を心掛けてください」とのことでした。



春の写真展開催（写真同好会）

▽期日 五月十四日（木）～二十一日（木）
九時～十六時（最終日は十五時まで）
▽場所 犬山市役所 一階 市民プラザ

人事異動

当センターの事務局長・山口正巳が令和八年三月三十一日付で退職し、同年四月一日付で志賀知香子が事務局長に（挨拶①面）、中村浩三が事務局次長に、天野利彦が職員に就任しました。前任者同様ご指導とご協力をよろしくお願いします。



退職者挨拶

前事務局長 **山口 正巳**

シルバー一筋三十八年勤めてまいりました。

その間、会員親睦旅行、周年記念事業、産業振興祭等の行事や、独自事業ではチップ化事業、トマト栽培事業は担当でもあったことから愛着があり良き思い出となりました。

加えて、多くの会員さん、役員さん、職員さん、発注者様と関わることで、自分にとってかけがえのない財産となりました。

最後となりますが、犬山市シルバー人材センターのますますのご繁栄と会員皆様のご活躍とご多幸を祈念しまして、退職に際しての

ご挨拶とさせていただきます。大変お世話になりました。

新任者挨拶

新事務局長 **中村 浩三**

この度ご縁をいただき犬山市シルバー人材センター



事務局長を拝命いたしました。

私はこれまで、市役所や歴史文化の分野での経験を通じて、地域の皆さまとのつながりや、より良い運営に努めてまいりました。

今回の就任にあたり、これまでの経験を活かしつつ、現場の声を伺いながら新たな視点で事務局運営に貢献してまいります。

未熟な点も多くございますが、会員の皆さまや先輩方のご指導とお力添えをいただきながら、地域に根差した信頼されるセンターを目指していきたくと思います。

会員の皆さまのご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

天野 利彦



このたび、当センターの一員として勤務することとなりました。会員様とご依頼者様の双方に寄り添い、安心・安全な環境づくりに努めてまいります。できるだけ早く業務を習得し、地域を支えておられる皆様のお力となれるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

このたび、当センターの一員として勤務することとなりました。会員様とご依頼者様の双方に寄り添い、安心・安全な環境づくりに努めてまいります。できるだけ早く業務を習得し、地域を支えておられる皆様のお力となれるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

おたのしみ会 開催

二月二十六日、高齢者活動センターにおいて、センター会員を対象とした「おたのしみ会」が開催され、二十二名の会員が参加しました。

はじめに、小林会長から「これまで地域懇談会の名称で、会員の交流を目的とした会合を地域ごとに開いてきました。出席人数が少なく目的が達せられていませんでした。そこで今回、皆で交流を楽しむことを主に企画したところ、久しぶりに大勢参加いただきました。懇談会の前に「どじょうすくい」を見て、また一緒に踊りを覚え、楽しんでいただきたい」と挨拶。続いて、センター会員の菊田紀子さんが「どじょうすくい」を披露し、参加者の中から数名がハチマキ、いかき（ざる）を使って「どじょうすくい」のおどけた仕草を教えてもらい、笑い声を発しながら楽しめました。



雰囲気はほぐれたところで、五、六人のグループになって今日の催しを通じて感じたこと、これからの懇談会のあり方など意見交換



をしました。今までメンバー間の交流がないのでこうした催しは必要である、定期的に開くと良い、同好会活動の発表の場を設けたらどうか、またシルバ

ーの定期総会の場・時を活用したらどうか等、意見が出ました。今後、同じシルバー会員ながら面識のないまま終わるのでなく、このような機会に互いに声掛けし交流を深めることの大切さを強く感じました。

「おたのしみ会」アンケート結果

・半数以上の参加者から「とても楽しかった」「懇談会は話しやすかった」「ちようど良い時間だった」などの肯定的な回答がありました。
・次はどんな内容なら参加したいですか？の問いには、「お茶を飲みながらの交流」「クイズやゲーム大会」「会員による特技披露」「季節行事」「軽体操」などがあると良いとの意見がありました。



同好会 この秋市民大学で開講

わらじの会では、令和八年度に開催される犬山市民大学において、体験講座を担当することになりました。わらじの会が発足して二十余年、やっと目が開いた感じがします。

市民大学は、犬山市及び市教育委員会が主催する事業で、生涯学習事業の一環として市民へ向けた講座を行い、学ぶことで得られる出会いや感動、喜びを感じるための機会をつく

ります。その講師として我らシルバーわらじの会がお手伝いできることになるとは思ってもみなかったことです。会員一同万全の体制でお手伝いできるよう、今から準備をしています。なお、最終日には各自で作ったわらじを履いて城下町を歩く予定です。



新入会員紹介

令和八年一月
三月入会者

- | | |
|------------|-------------|
| 林 眞理子 (犬山) | 市原 光良 (楽田) |
| 小川 京子 (富岡) | 濱田 英明 (楽田) |
| 水野 包子 (楽田) | 佐藤 實 (楽田) |
| 青山 敏之 (犬山) | 立花三千雄 (前原) |
| 榊原 花子 (富岡) | 大澤美智子 (塔野地) |
| 所 健一 (羽黒) | 石原喜美子 (犬山) |
| 宮田佐智子 (橋爪) | 土居 勇 (犬山) |
| 今枝 稔幸 (羽黒) | 三輪 浩司 (犬山) |
| 寺澤香代子 (池野) | 森藤 秀志 (犬山) |
| 吉野美智子 (上野) | 山口 由紀 (楽田) |
| 福永 孝行 (楽田) | |